

# 平成 30 年度 授業改善推進プラン

調布中学校

教科 <b>国語</b>	重点目標 文章を読み解く力と書く力の育成																									
学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)		改善策と検証																								
<b>1年</b>	<table border="1"> <caption>1年 学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C (努力を要する)</th> <th>B (おおむね満足)</th> <th>A (十分満足)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>話す・聞く力</td> <td>10</td> <td>94</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>書く力</td> <td>74</td> <td>81</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>読み解く力</td> <td>10</td> <td>72</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>言語の知識</td> <td>22</td> <td>66</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)	関心意欲	18	32	133	話す・聞く力	10	94	79	書く力	74	81	28	読み解く力	10	72	101	言語の知識	22	66	95	<p><b>改善策</b>                      書く力は、授業時での作文よりもテストでの解答が不完全であったことが今回の結果につながった。わかっているにもかかわらずまとめられなかった生徒が多かったように感じる。改善策として、テストに準じて短い字数で書く学習に取り組みたい。</p> <p><b>検証</b>                      話し合いを通して考えを深め、自分の考えをアウトプットすることで文章を書く取り組みを行った。書くことに対して前向きになったと感じる。</p>
項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)																							
関心意欲	18	32	133																							
話す・聞く力	10	94	79																							
書く力	74	81	28																							
読み解く力	10	72	101																							
言語の知識	22	66	95																							
<p><b>課題</b> 関心・意欲や読み解く力・言語の知識は十分満足できる数値であったが、書く力が劣っている者が多かった。</p>																										
<b>2年</b>	<table border="1"> <caption>2年 学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C (努力を要する)</th> <th>B (おおむね満足)</th> <th>A (十分満足)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>43</td> <td>58</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>話す・聞く力</td> <td>15</td> <td>87</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>書く力</td> <td>83</td> <td>79</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>読み解く力</td> <td>41</td> <td>61</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>言語の知識</td> <td>34</td> <td>73</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)	関心意欲	43	58	78	話す・聞く力	15	87	77	書く力	83	79	17	読み解く力	41	61	77	言語の知識	34	73	72	<p><b>改善策</b>                      書く力を伸ばすため、情報を取り入れる→整理・理解する→思考する・判断する→表現する(書く)という一連のプロセスを徹底させていく。授業で字数と時間を決めて書く練習を重ねていく。</p> <p><b>検証</b>                      書くプロセスを細かく指導したため、書くことに対して少しずつ取り組めるようになった。また、語彙力の重要性を感じている生徒が多くなった。</p>
項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)																							
関心意欲	43	58	78																							
話す・聞く力	15	87	77																							
書く力	83	79	17																							
読み解く力	41	61	77																							
言語の知識	34	73	72																							
<p><b>課題</b> 全体的に書く力が弱いことがわかる。関心意欲態度がAの生徒が多くなるように2学期以降指導していく必要がある。</p>																										
<b>3年</b>	<table border="1"> <caption>3年 学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C (努力を要する)</th> <th>B (おおむね満足)</th> <th>A (十分満足)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>17</td> <td>26</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>話す・聞く力</td> <td>41</td> <td>92</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>書く力</td> <td>68</td> <td>76</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>読み解く力</td> <td>65</td> <td>89</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>言語の知識</td> <td>43</td> <td>76</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)	関心意欲	17	26	138	話す・聞く力	41	92	48	書く力	68	76	37	読み解く力	65	89	27	言語の知識	43	76	62	<p><b>改善策</b>                      授業内で文章を書く機会を増やす。インプット→アウトプットの流れを授業内で確立するとともに、アウトプットの比重を高め、その手段として「書く」ことを用いる。</p> <p><b>検証</b>                      進捗の関係で課題演習の時間が増え、その中で書く練習を重ねてきた。そのため書くことに対して前向きになった生徒が増えてきた様子が見えた。</p>
項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)																							
関心意欲	17	26	138																							
話す・聞く力	41	92	48																							
書く力	68	76	37																							
読み解く力	65	89	27																							
言語の知識	43	76	62																							
<p><b>課題</b> 「書く力」と「読み解く力」に課題が見られる。また、全体的に C の生徒を減らすための指導も必要となる。</p>																										